

## 奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

- ① 研究課題名 液状化子宮内膜細胞診標本作製の標準的手技の確立
- ② 研究期間 学長許可日から 2020年12月31日
- ③ 対象患者 1、対象期間中に奈良県立医科大学附属病院産婦人科を受診され、  
内膜細胞診を受けられた患者さん  
2、対象期間中に奈良県立医科大学附属病院産婦人科を受診され、  
内膜の組織を採取し検査を受けられた患者さん
- ④ 対象期間 2012年4月1日から2019年3月31日
- ⑤ 研究機関の名称 奈良県立医科大学附属病院 病院病理部
- ⑥ 研究責任者 氏名 西川 武 所属 病院病理部
- ⑦ 使用する試料・情報等 子宮内膜細胞診 LBC 標本  
子宮内膜細胞診判定結果、子宮内膜組織診診断結果
- ⑧ 研究の概要

従来、生体より採取された細胞は直接スライドガラスに塗抹していましたが、近年、液状固定液により細胞固定を行ってから、スライドガラスに塗抹する方法が開発され、LBC(Liquid based cytology)と呼ばれています。

子宮内膜細胞診 LBC 標本は、標本作製する過程の違いで、出来上がる標本の質が大きく変わります。しかし、その原因は公表されていません。そこで、当院の過去の標本を改めて研究することで、よりよい標本作製するための方法を研究します。

- ⑨ 研究計画書等の閲覧等

研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。

詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。

- ⑩ 結果の公表

学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。

- ⑪ 個人情報の取扱い

カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用します。また、カルテ ID

と研究 ID の対応表は作成いたしません。従いまして、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。

⑫ 問い合わせ先・

相談窓口 奈良県立医科大学附属病院 病院病理部 担当者：西川 武  
電話 0744-22-3051（代表） FAX 0744-29-1460（直通）  
Mail [ntakeshi@naramed-u.ac.jp](mailto:ntakeshi@naramed-u.ac.jp)